

平成22年度 一般会計 予算見積 事業別概要書(当初)

款	2. 総務費	事業名	3. 徴収事務費	課長	
項	2. 徴税費	細事業名	1. 徴収事務費	副主幹	
目	2. 賦課徴収費	担当課・係	収税課 (執行課: 収税課)	担当	
				連絡先	

予算分析	臨時経費	継続事業	単独事業								(単位: 千円)	
	(歳入)	(歳出)	財源内訳									一般財源
要求額	0	21,510	要求									21,510
決定額			決定									

実施計画の内容	(実施計画における事業の概要)	施策	まちづくりの推進に向けて / 成果と効率性を重視した行財政運営の推進 / 市税の徴収を適正に行います。									
	【未収債権の回収指導等に関する業務, 市税徴収の民間委託に関する業務ほか】 ・市税その他の未収債権の徴収や高額困難案件への対応について、債権回収に係る知識・技術、経験等を有する徴収指導員等が指導、調整や相談等を行い、債権回収事務の強化に資する。 ・滞納者宅等を訪問し、納税の催告および納付約束・納付書の再発行等の取次を行う。 ・電話催告システムを導入し、自動架電による一斉催告を実施する。	施策体系コード	06-01-04-20-55	事業番号	96-1							
		総事業費	22,008千円		事業期間	平成22年度						
		年度別事業費	22年度									
		22,008										
												(事業実施に関する根拠法令)

< 事業に関する説明 >

(事業の説明)	(事業の目的)	(事業の効果)
<p>・市税その他の未収債権の徴収や高額困難な滞納案件について、債権回収に係る知識・技術、経験等を有する徴収指導員を雇用し、指導、調整、相談等を行い、債権回収事務の強化を図るものです。本件要求は、当該徴収指導員雇用に係る賃金4,548千円を計上したものです。</p> <p>・市税の滞納者に対する催告業務の一部について、民間業者を導入し、訪問催告及び電話催告を事業委託することにより、市税の滞納整理業務の一層の強化と効率化を図ろうとするものです。本件要求は、当該事業委託執行に係る委託料6,962千円を計上したものです。</p> <p>・高額な滞納案件のうち極めて困難な事例について、弁護士への回収委託や相談等に要する費用10,000千円を計上したものです。</p>	<p>市税その他の未収債権の回収事務の強化を図ることにより、市民の負担の公平性を維持するとともに、行政運営に必要な歳入の確保を図ることを目的とするものです。</p>	<p>徴収指導員については、滞納整理事務の法的知識や対応技術の向上、あるいは困難案件の解決等に効果が期待できるものです。次に訪問催告や電話催告については、休日や夜間など、滞納者の在宅率の高いと思われる時間帯を中心に実施し、併せて各種使用料や保育料などの市税以外の未収債権についても、同時に催告することにより、効率的な徴収事務を進めるものです。弁護士による対応については、高額で極めて困難な案件の徴収について、より専門的に法的対策を図ろうとするものです。</p>
(事業実施上の問題点)	(前年度からの見直し点)	(見積についての特記事項)